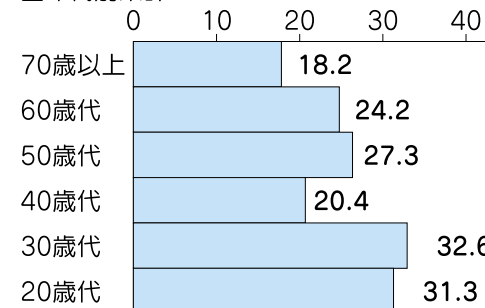


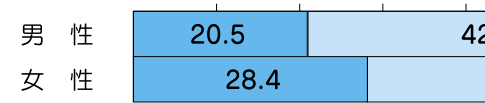
【設問 9】 エイズ患者・HIV 感染者に対する差別をなくす取り組みが進められています。あなたの近くに感染者等がいた場合、あなたはどのようにしますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

1. 病気に対する理解を持ち、病気で苦しむ人々に対して、当然のこととして支援したい。
2. 感染することに対して不安はあるが、できるだけ支援したい。
3. 感染することに対して不安が強いので、できるだけさけるようにしたい。
4. わからない

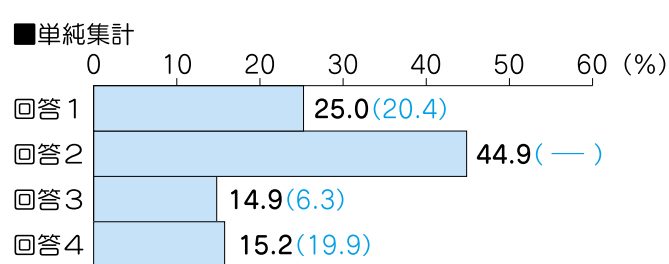
■単純集計



■性別集計



「H I V問題について」



※回答2については前回と内容が異なるため比較なし。
※ () は平成14年度集計

・回答1は前回より4.6%高い数値で、人権意識の高まりを感じるが、回答3「できるだけさけるようにしたい」も8.6%増加しており、問題であると言えます。

・他の年代層に比べ、20～30代層の数値が高く、若い年代層ほど HIV 問題に対する理解が進んでいることが分かります。

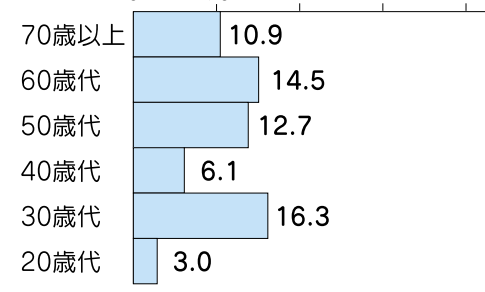
■回答1 支援したい
■回答2 正しい知識を広めるべき

・回答1で7.9%、回答2で4.2%女性の方が高い結果になっています。

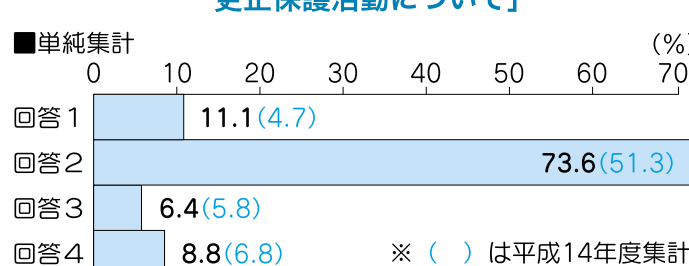
【質問 10】 犯罪や非行を行った人が早期に社会復帰できるように支援する、「更正保護」活動をしている人たちがおられます。もしあなたに「更正保護」活動に参加しませんかと呼びかけられたら、あなたはどのようにしますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

1. 「更正保護」活動は大切なことであり、自分も参加したい。
2. 「更正保護」活動をしている人たちは立派だとは思いますが、自分にはできない。
3. こうした活動には関わりたくない。
4. わからない

■単純集計



「更正保護活動について」



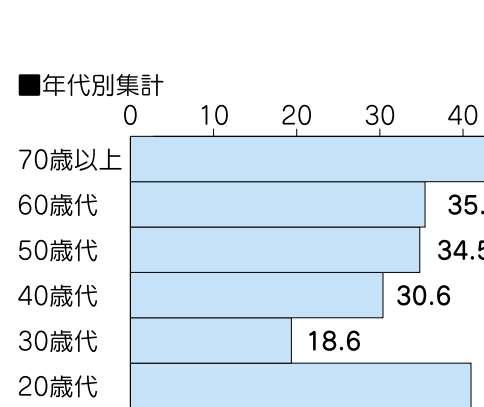
※ () は平成14年度集計
・回答1は、前回より6.4%、回答2は22.3%高くなっており、更正保護活動への理解が進んでいることが分かります。

・20～40代層、50～70代層に分けて、考察してみると、上の年代層の方が下の年代層より、理解が進んでいることが分かります。

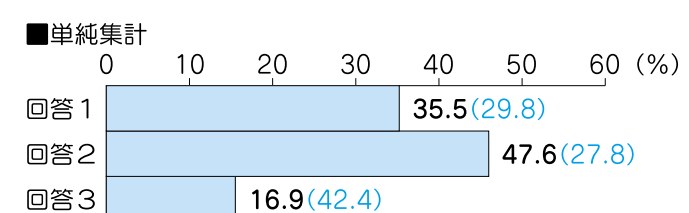
【質問 11】 人権を守ることの大切なこととして、「他人への思いやりをもつ」という意見がありますが、あなたは、人々とのふれあいのなかで「思いやりのある言葉や行動が多くなった」と感じますか。あなたの感じ方に近いものを1つだけ選んでください。

1. そのように感じている。
2. そのようには感じていない。
3. わからない。

■単純集計



「思いやりの心について」



※ () は平成14年度集計

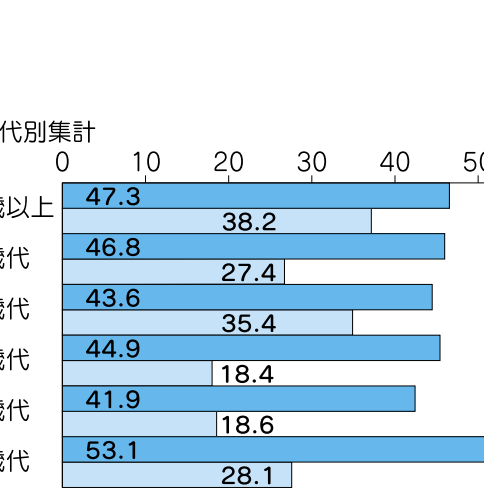
・回答2は、前回より19.8%高い数値を示しているが、この結果は、最近の殺伐たる世相の反映ではないかと推測されます。

・70歳以上の年齢層が、50.9%「思いやりの心」を感じているという結果が出ています。これは、高齢者問題にかかわる好ましい数値であると言えます。

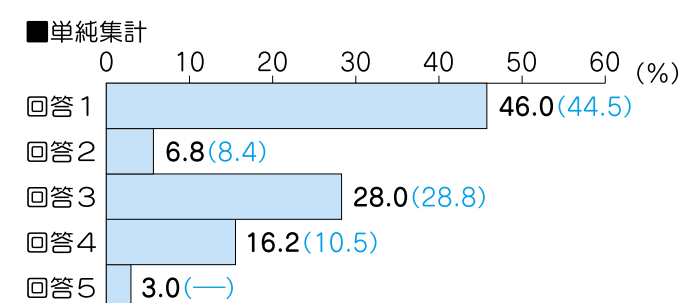
【質問 12】 可児市では、『心豊かな 活力とうるおいのある住みよい都市（まち）づくり』をめざしていますが、あなたは市民の一人として「人づくり」にどのようなことが大切だと思いますか。あなたの感じ方に近いものを1つだけ選んでください。

1. 家庭教育の充実
2. 学校教育の充実
3. ぬくもりの感じられる隣人付き合い
4. 一人ひとりの人権意識の高揚
5. その他 ()

■単純集計



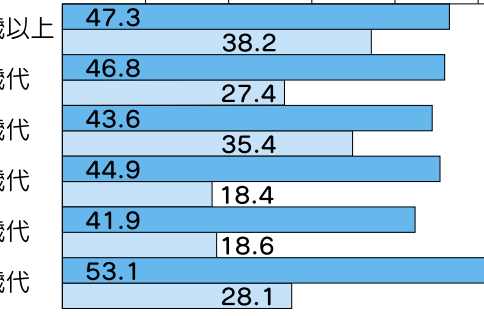
「人づくりについて」



※ () は平成14年度集計
※回答5については前回と内容が異なるため比較なし。

・回答1は、前回より1.5%増加し、46%と高い数値を示しています。回答4は、前回より5.7%高くなっており、人権に対する意識の高揚の結果と言えます。

■年代別集計



・回答1は、どの年代層も高い数値を示しています。回答3は、大きく分けて考察すると、高い年代層ほど、「ぬくもりある隣人付き合い」を重要視していることが分かります。

可児市民の人権意識調査

平成 18 年 9 月集計



平成18.12.16 「人権啓発フェスティバル in 可児」人権啓発展示場（アーラ 美術ロフト）

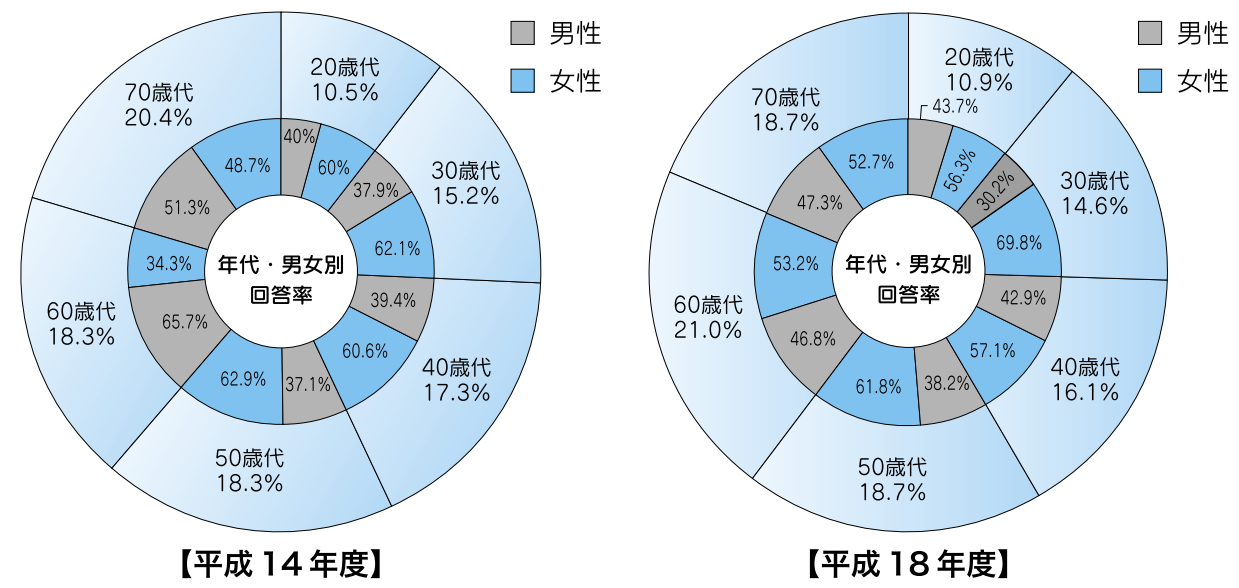
可児市人権啓発センター
可児市下恵土5166-1
可児市総合会館分室内
電話・FAX 0574-63-7990
E-mail : jinken01@ma.ctk.ne.jp

平成 18 年度 9 月実施の可児市民の人権意識調査集計結果

■市民の人権意識は？

可児市人権啓発センターでは、平成3年の開設以来、数年ごとに「市民の人権意識調査」を実施してきました。この調査の目的は、市民の皆さんの人権意識の実態を把握し、問題点があれば、その解決のための啓発活動を進めていくと共に、調査結果を機関紙に公表し、市民の皆さんの人権に対する関心を高めていただくものです。今回の調査は、平成14年度と調査内容をほぼ同じにして、比較できるようにしました。又、18年度は、可児市企画部まちづくり推進課と共催の形で実施させていただきました。

	【平成 14 年度】			【平成 18 年度】		
調査の時期	平成 14 年 8 月 15 日～ 30 日			平成 18 年 8 月 21 日～ 9 月 11 日		
調査の方法	無作為抽出法（市民 5 0 0 名）			無作為抽出法（市民 7 0 0 名）		
対象の属性 (20歳以上)	男 性	2 5 0 名		男 性	3 5 0 名	
	女 性	2 5 0 名		女 性	3 5 0 名	
回 答 者 数	男 性	8 8 名		男 性	1 2 7 名	
	女 性	1 0 3 名		女 性	1 6 9 名	
回 答 率	男 性	35.2%	38.2%	男 性	36.3%	42.3%
	女 性	41.2%		女 性	48.3%	



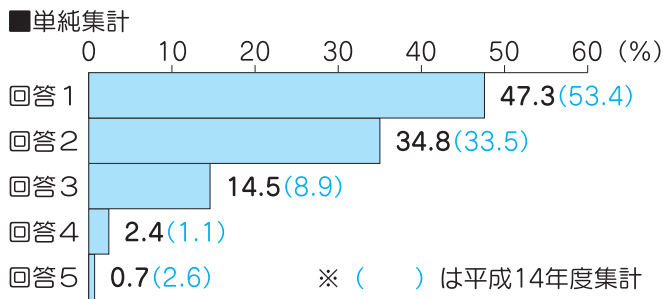
【調査概要についての考察】

1. 平成18年度の回答率は前回に比較し4%増加し、42.3%となりました。
2. 50、60、70代層の回答率は、20、30、40代層と比較し、合計して16.8%高い数値を示しています。
3. 男女別で比較すると、女性が男性より1.2%回答率が高い結果になっています。20～50代層では、女性の方が平均22.3%高い数値を示し、60、70代層では、逆に男性の方が平均5.9%高くなっています。

【質問1】 家庭や地域、あるいは職場において、「女のくせに」と言われたり、「女だから」ということで男性に比べて不利な扱いを受けたりする場合があることについて、あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

1. 女性だからといって差別するようなことは、ぜひともなくすべきである。
2. 女性差別はよくないが、少しずつ改善していけばよい。
3. 女性が男性よりいくらか不利な扱いを受けるのは、やむを得ない。
4. 女性が不利な扱いを受けるのは当然である。
5. わからない。

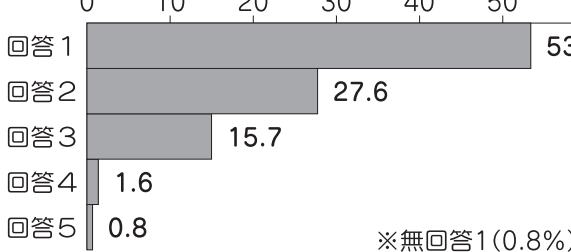
「男女差別について」



※ () は平成14年度集計
※平成18年度無回答1(0.3%)

・回答1の割合は、前回に比べ、6.1%減少しています。回答4の割合は、前回に比べ、1.3%高くなっているのが、注目されます。

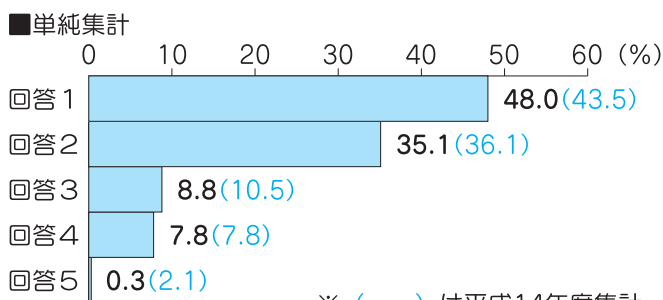
■男女別集計（男性）



※無回答1(0.8%)

・回答1の割合は、男性が女性より10.9%高いのが予想外の結果と言えます。回答2の割合は、女性の方が12.6%高く、現実的な選択になっています。

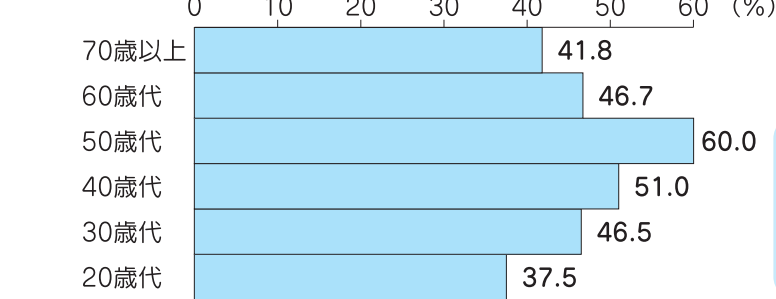
「いじめについて」



※ () は平成14年度集計

・回答1は、前回より4.5%高く「いじめ問題」についての関心の強さを表しています。

■年代別集計



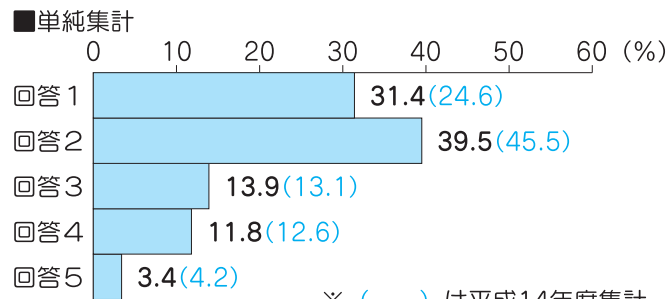
■回答1の年代別割合

・どの年代も「いじめ問題」についての関心度が高くなっていますが、社会問題化しているためと思われます。特に50歳代層は、60%と、高い数値を示しています。

【質問3】 仮に、あなたの近所の家庭で、高齢者があまり大切にされていないことを聞いた場合、あなたはどのように考えますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

1. 高齢者であることや、高齢化による障がいなどを理由に大切にしないことは、人間として許されない。
2. 高齢者は、人生の先輩として尊重されるべきである。
3. 状況によっては、ある程度は迷惑がられてもやむを得ない。
4. 高齢者の方に原因があればしかたがない。
5. わからない。

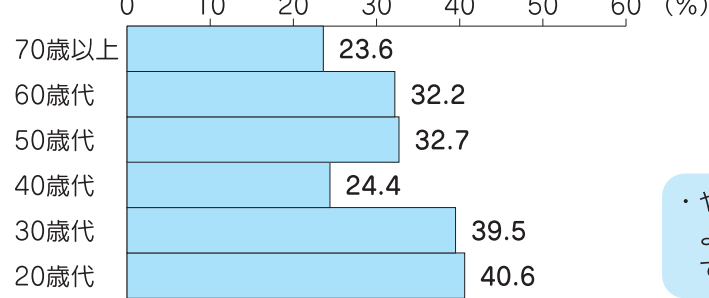
「高齢者について」



※ () は平成14年度集計

・回答1は、前回より6.8%高くなっています。高齢化社会到来に対する関心の高さを示していると思われます。

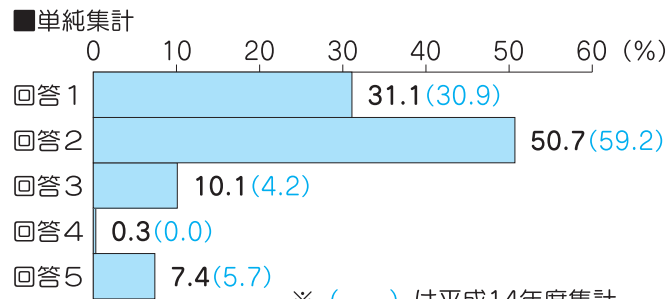
■年代別集計



■回答1の年代別割合

・やがて高齢化社会を自分自身が迎える年代層よりも、20、30代の若い年代層が高くなっているのが注目されます。

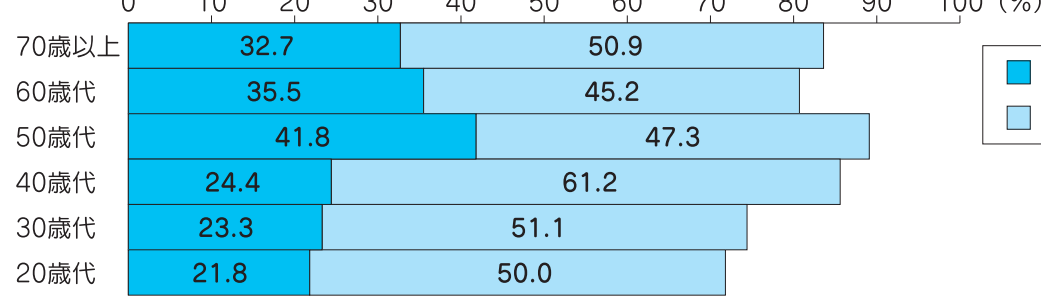
「障がい者について」



※ () は平成14年度集計
※平成18年度無回答1(0.3%)

・回答1、2の合計が、前回より8.3%減少しています。回答3は、前回より5.9%高くなっているのに注目が必要です。

■年代別集計



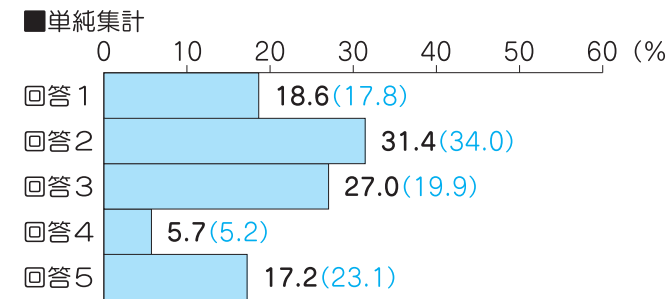
■回答1の年代別割合
■回答2の年代別割合

・年齢が高くなるほど「障がい者」に対する関心、理解が増していることが分かります。

【質問5】 仮に、あなたの身近な人が「同和問題」について差別的な発言をした場合、あなたはどのように考えますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

1. 自分で、差別の間違いを説明する。
2. 「同和問題」について良く知っている人の助けを借りて、差別の間違いを説明する。
3. だめだとは思うが、説明する自信がないので、そのまましておく。
4. 自分には関係のないことだから、そのままにしておく。
5. わからない。

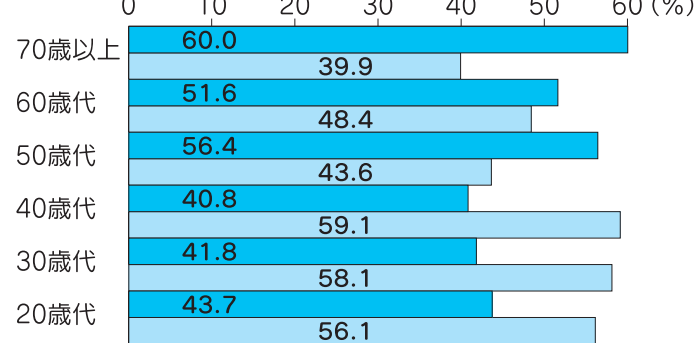
「同和問題について」



※ () は平成14年度集計

・回答3は、前回より7.1%高くなっています。回答5「わからない」が、前回（23.1%）と同じく比較的高い数値を示しています。

■年代別集計



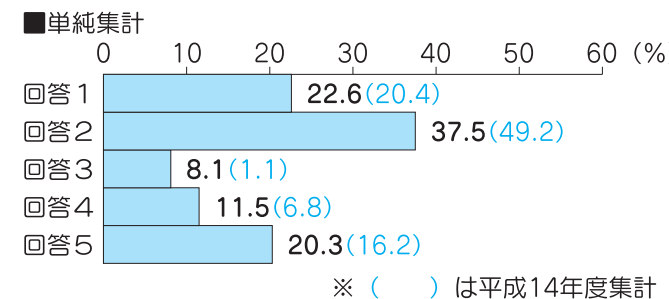
■回答1・2の年代別割合
■回答3・4・5の年代別割合

・高い年代層ほど、「同和問題」について、知識理解・関心があり、低い年代層ほど、やや関心が薄いことが分かります

【質問6】 あなたは、「同和問題」を解決するためには、今後どのようなことが必要であると思いますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

1. 市民一人ひとりが、「同和問題」に関心をもって解決のために努力する必要がある。
2. 国・県・市など行政が、「同和問題」の啓発活動をねばり強く行う必要がある。
3. 同和地区の人たちが、解決に向けて努力する必要がある。
4. そっとしておけばよい。
5. わからない。

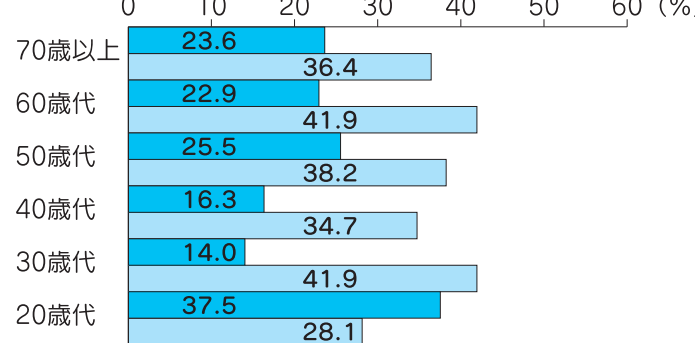
「同和問題の解決について」



※ () は平成14年度集計

・回答3は、前回より7%高くなっています。回答3、4、5の合計が39.9%になり、この傾向は同和問題解決の方向としては一考を要します。

■年代別集計



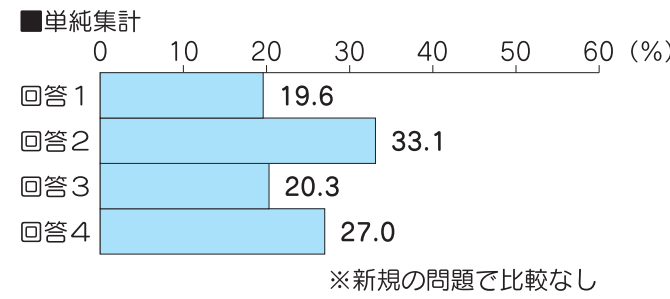
■回答1の年代別割合
■回答2の年代別割合

・20代層の回答1が、37.5%と高く、同和問題解決に対する前向きな考えを持っていますが、30、40代層は、逆に低い数値を示しています

【質問7】 可児市には、日系ブラジル人をはじめ多くの外国人が住んでいます。あなたは、外国人が日本で生活する上で、不利な取り扱いがあると感じますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

1. 感じる
2. 少し感じる
3. 感じない
4. わからない。

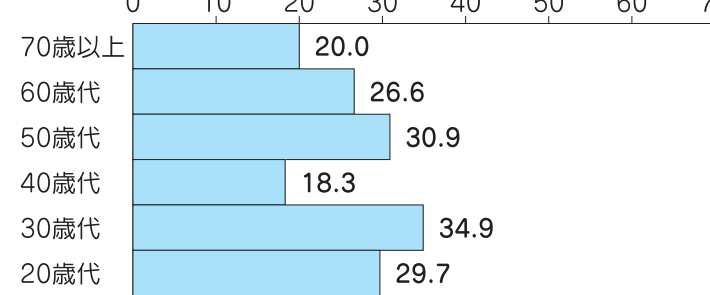
「外国人問題について」



※新規の問題で比較なし

・回答1、2の合計が、52.7%になり、外国人が日本で不利な扱いを受けていると感じている割合が比較的高いことが分かります。

■年代別集計



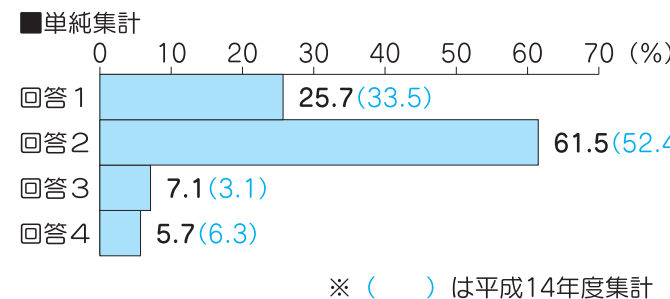
■回答1・2の年代別割合

・年齢層でバラツキがあるが、30代層が34.9%と高く、40代層18.3%と低い数値を示しています。

【質問8】 仮に、あなたの近所に外国人の人が住むことになった場合、あなたはどのように考えますか。あなたのお考えに近いものを1つだけ選んでください。

1. 文化の違いに関心を持ち、同じ人間として分けへだてなくつきあいたい。
2. その人個人を見きわめて、必要であればつきあいたい。
3. 文化や生活習慣が違うので、つきあいを避けたい。
4. わからない。

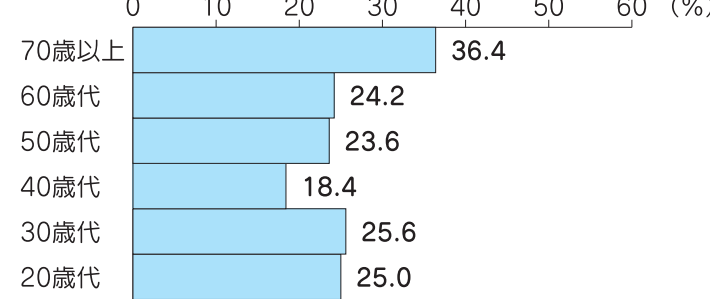
「外国人問題について」



※ () は平成14年度集計

・回答1、2の合計が87.2%となり、全体的に見て外国人問題に対し、理解のあることが分かります。

■年代別集計



■回答1の年代別割合

・70代層が36.4%で、20～60代層に比べ相当高い数値を示しています。